アマノ株式会社
本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL.（045）401-1441（代表） FAX.（045）439-1150

http://www.amano.co.jp/

SR556605
T7805S5-2002.1

AMANO®

電子タイムレコーダー

EX6000N series

取扱説明書

目次

はじめに

このたびは、アマノ電子タイムレコーダー EX6000N シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の際は、本取扱説明書を熟読され、EX6000N シリーズの性能を十分に発揮し、末永くご愛用いただくために、お役立てください。また、本書は大切に保管し、わからなくなった時はもう一度お読みください。

ご注意

□EX6000N シリーズは、設置環境が悪いと、正常に使えなくなることがあります。屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。
□製品および本書は、改良のため予告なしに変更になる場合があります。
□本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら、ご購入の販売店までご連絡ください。
□本書の内容の一部または全部を、無断で複写、転載しないでください。
□本書仕様以外の記載は別冊あるいは差し込みとなる場合があります。

お願い

お手数ですが、ご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より完全なアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

アフターサービス

電話やファクシミリによるお問い合わせはすべて無償ですが、出張して作業を行う場合は原則として当社規定の「作業料金」「交通費」などをご請求申し上げます。

モデル一覧

仕様／モデル名	単色印字	二色印字	時報	メロディ	バランス印字	停電印字（オプション）
EX6000N	○					○
EX6100N		○			○	○
EX6200N		○	○	○	○	○

各部の名称

外観

欄ボタン（設定項目ボタン）
タイムカードへ印字する場所（欄）はこのボタンを押して選択します。
欄ボタンが点灯している所に印字します。

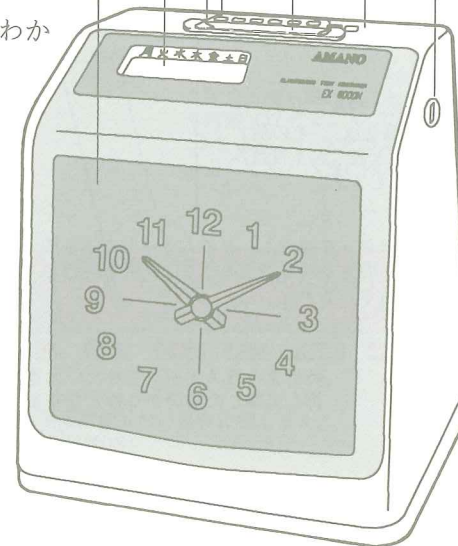
防塵ぶた
使用しないときは、防塵ぶたをします。

液晶式デジタル表示器
日・時・分・曜日指示を表示します。

アナログ時計
遠くからでも時間のわかる大きな時計です。

カードポケット
ここからタイムカードを差し込みます。
表面・裏面を誤って差し込んでも印字しない表裏判別機能がついています。

上ケース
リボンカセットの交換、設定や時計をセットするときにはずします。

キー
ケースをはずすときに、付属のカギで開けます。

操作部

上ケースを開けて、各項目の設定を行います。
左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで、設定見出し①～③を出すことができます。
設定についての詳しい説明は、6ページ以降を参照してください。
注）ここでは、EX6200N の見出しを例に説明しています。
　　EX6200N の機能がない機種では、見出しが空欄になっています。

このボタンを押すと、空段の位置が変わります。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと時計が1分ずつ進みます。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が0秒となります。アナログ時計も同時に動きます。

設定見出し①

締日				空段送り	印字段切換	時刻調整	
31日（Aカード）	25日（Cカード）	20日（Bカード）	その他			分送り	秒停止

ダイヤル

月末・25日・20日締めボタンがあります。任意の締日をセットしたい場合は、「その他」を押します。短く1回押すと表示が1日進みます。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、タイムカードの印字段を切り換える時刻が変わります。押し続けると早送りします。

時計を0秒スタートさせたいときに押します。このボタンを押して離した瞬間が0秒となります。

時分を変更します。＋または－ボタンを使って数値を変更します。

時報の長さを変更します。＋または－ボタンを使って数値を変更します。初期値は5秒です。（EX6200N）

設定を登録します。

年月日を変更します。＋または－ボタンを使って数値を変更します。

表裏判定の有無や、24H／12H 表示切換、分印字表現、曜日印字などの印字フォーマットを変更します。

＋ボタンを1回押すと数値を＋1します。押し続けると早送りします。
－ボタンを1回押すと数値を－1します。押し続けると早送りします。

週間プログラムの曜日、時刻を設定するときに押します。

タイムカードに印字する色を黒または赤に印字切換したい場合に押します。（EX6100N、EX6200N）

時報やメロディを設定したい場合に押します。（EX6200N）

2秒以上押し続けることにより、表示している週間プログラム No.の内容を取消します。（2秒未満では画面のみ取消しとなり、既に設定してある内容は残ります）

設定見出し③

設定を登録します。

週間プログラム				取消	＋	－	登録
曜日時刻	二色	時報メロディ	バランス		曜日/ON	曜日/OFF	

（EX6100N、6200N）

バランス印字を設定したい場合に押します。（EX6100N、EX6200N）

週間プログラムを設定する場合、ディスプレイ上の点滅している曜日に対して＋／曜日 ON ボタンを押すと曜日が点灯し有効となります。またボタンを押し続けると数値を早送りします。

週間プログラムを設定する場合、ディスプレイ上の点滅している曜日に対して－／曜日 OFF ボタンを押すと曜日が消灯し無効となります。またボタンを押し続けると数値を早送りします。

使用するカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。
締日によりAカード　Bカード　Cカード　Dカードがあります。
誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると「ピー！」とアラームが鳴り、印字できません。

Aカード
月末締め（両面）

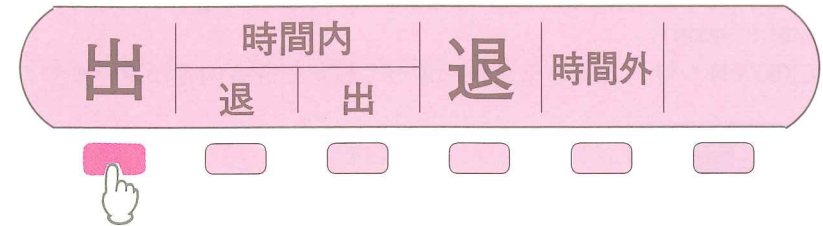
Bカード
20日締め（両面）

Cカード
25日締め（両面）

■　Dカード　日付印刷なし（両面）……特注品

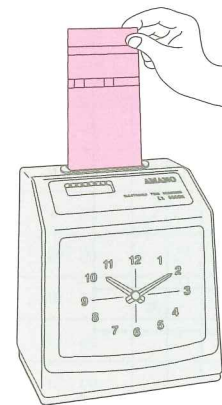
操作のしかた

印字欄の合わせかた

手動選択
「出」「退」の印字位置は、欄ボタンで手動選択します。

◆　欄ボタンが赤く点灯しているところに印字します。
他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを押します。

◆　次に欄ボタンを押すまで印字位置は変わりません。

タイムカードの入れかた

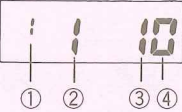
印字欄を確認してカードを軽く挿入します。
カードは自動的に引き込まれ、印字されます。

表裏判定機能付
表裏を誤って挿入すると、ピーッと鳴ってカードを排出します。（設定により表裏判定する、しないを選択可能）

◆　自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。

◆　上下を誤って挿入すると印字してしまいます。注意してください。

◆　アマノ指定のタイムカード以外を挿入しないでください。
故障の原因になることもあります。

設定のしかた

電源を入れると、日付・時刻は内部のリチウム電池により歩進しているので、自動的に合います。
締日や印字段切換時刻などは初期値が登録されています。
初期値のままでご使用になる場合は、設定する必要はありません。

＊週間プログラムでは、二色印字、時報、メロディ、バランス印字の設定ができます。（EX6100N、6200N）

注）EX6000N シリーズは、モデルによって設定できる内容が違います。

初期値一覧

内容	設定値	初期値
締日	01～31	31
空段送り	01～32	01
印字段切換時刻	時　00～23	03
印字フォーマット 1 1 10 ① ② ③④	①タイムカードの表裏判定 1：する　2：しない	1
	②24H／12H 表示切換 1：24時間制　2：12時間制	1
	③分印字表現 1：60進法　2：100進法Ａ 3：100進法Ｂ　4：10進法	1
	④曜日印字 0：日付　1：英語　2：西語 3：仏語　4：独語　5：伊語 6：漢字　7：デイ No. 8：曜日印字しない	0
時報吹鳴時間	00～59秒	05

＊デイ No.
曜日を数字で表します。月＝D1、火＝D2、水＝D3、木＝D4、金＝D5、土＝D6、日＝D7

設定表の作成

設定する前に就業条件を確認し、設定表を作りましょう。
設定表は本書末（37ページ）にあります。

例）

月末締めで上図のような就業条件の場合は次のように記入します。

【EX6200N の場合】

項目	設定	説明
締日	31	日（01～31）
空欄段送り	01	No.（01～32）
印字段切換時刻	05	時（00～23）
印字フォーマット		
タイムカードの表裏判定	1	1：表裏判定する　2：表裏判定しない
24時間制／12時間制表示切換	1	1：24時間制　2：12時間制
分印字表現	1	1：60進法　2：100進法Ａ 3：100進法Ｂ　4：10進法
曜日印字	0	0：日付　1：英語　2：西語　3：仏語 4：独語　5：伊語　6：漢字　7：デイ No. 8：曜日印字しない
時報吹鳴時間	05	秒（0～59）0秒のときは吹鳴しません

No.	時　分	曜日 月	火	水	木	金	土	日	二色	時報	メロディ	バランス 1	2
1	8：25	○	○	○	○	○					1		
2	8：30	○	○	○	○	○				○		○	
3	8：31	○	○	○	○	○			R				
4	10：00	○	○	○	○	○					3		
5	10：10	○	○	○	○	○					4		
6	12：00	○	○	○	○	○				○			
7	13：00	○	○	○	○	○				○			
8	15：00	○	○	○	○	○					3		
9	15：10	○	○	○	○	○					4		
10	17：00	○	○	○	○	○			B	○			○

メロディは下表のコードNo.を設定します。

No.	メロディ	秒数
1	グリーンスリーブス	32秒
2	峠の我が家	35秒
3	ウエストミンスター	15秒
4	二つのメヌエット	10秒

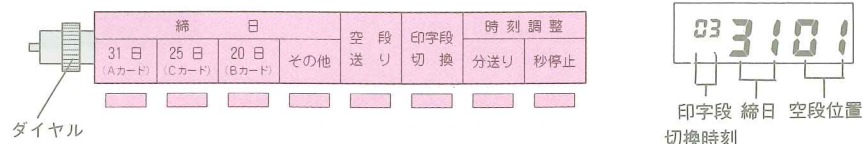
二色印字は、Ｒ：赤印字開始またはＢ：黒印字開始を設定します。

● 設定は25ステップまで可能です。

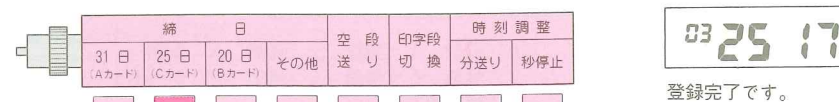
締日の変更

締日とは、１か月単位の処理月の最終日を言います。
アマノＡカード使用の場合は、セットする必要がありません。
アマノＢ、Ｃカード使用の場合は、20日・25日の締日ボタンを押すだけで締日が変更できます。

例：締日25日（アマノＣカード使用）

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

2 変更したい締日のボタンを押します

03 25 17

登録完了です。

- その他ボタンは、月末、25日、20日以外に締日をセットする際に押します。
- その他ボタンで締日を変更した場合は、必ず空段送りで空段を合わせます。

注）Ａ、Ｂ、Ｃカードを選択すると空段は自動的に変更されます。（９ページ参照）

☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

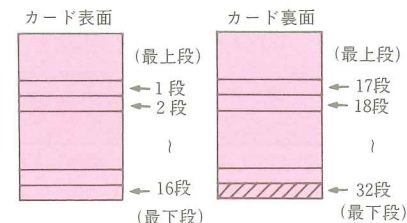
締日が15日のとき

アマノＡカードを使用します。
アマノＡカードを使用しますので、締日は31日、空段位置は01でセットします。カード裏面から使い始めます。

カード裏面　　カード表面

空段送りの変更

空段とは、個別タイムカードで両面32段のうち空白にする段を言います。
タイムカードの表面最上段を１段、裏面最下段を32段として、空段にしたい段を数字でセットします。
締日をセットすると空段は自動的に次のようにセットされます。

締　日	空段位置	適用カード
31日	１段	アマノＡカード
20・25日	17段	アマノＢカード アマノＣカード

例：空段７段

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

2 空段送りボタンを押します

ボタンを押すと、空段の位置が変わります。
希望する空段になるまで押します。押し続けると早送りします。

登録完了です。

☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

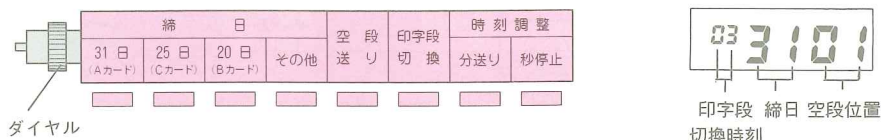
印字段切換時刻の変更

印字段切換時刻とは、１日の始まりを表す印字段を切り換える時刻のことです。
時間単位の変更のみで分位は00分固定、時間の表示しかありません。
印字段切換時刻は午前３時に設定されています。

例：印字段切換時刻　午前５時

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

03 3101

印字段切換時刻　締日　空段位置

2 印字段切換ボタンを押します

ボタンを押すと、切り換え時刻が変わります。
希望する印字段切換時刻になるまで押してください。
押し続けると、早送りします。

05 3101

登録完了です。

☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

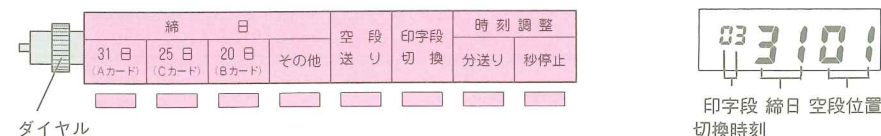
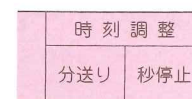
時計の合わせかた

時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。
時計の合わせかたには二通りあります。
通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。
万一、日付や時間が違うときに「日付の合わせかた」で時計を合わせます。

> 注）時計合わせを行いますと、時計の針は自動的に動きますので、絶対に針には触れないでください。

分の合わせかた

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

印字段切換時刻　締日　空段位置

2 分送りボタンと秒停止ボタンで時計を合わせます

分送りボタン、秒停止ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。

8:30

※分を戻すことはできません。
数分の進みであれば秒停止ボタンを押して時刻調整します。
数十分の進みであれば、「時刻合わせ」の時分ボタンを押して、時刻調整します。
（12ページ参照）

日付けの合わせかた

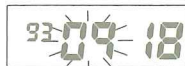
年・月・日・時・分の修正をします。

例：1993年９月18日18時00分⇨1993年９月21日８時30分

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

年が点滅します。

2 西暦年を合わせます

西暦年を確認します。
修正する必要がなければ
登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと月が点滅します

3 月を合わせます

月を確認します。
修正する必要がなければ
登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと日が点滅します。

4 日を合わせます

21になるまで⊞ボタンを押します。

登録ボタンを押すと確定します。

5 時分ボタンを押します

時が点滅します。

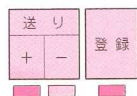
6 時を合わせます

８になるまで⊟ボタンを押します。

登録ボタンを押すと分が点滅します。

7 分を合わせます

30になるまで⊞ボタンを押します。

8:30

登録ボタンを押すと登録完了です。

☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

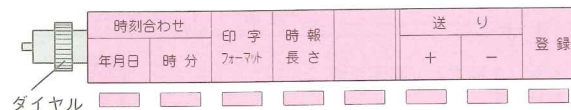
☞ 年は、00～91が2000年代、92～99が1990年代となります。

印字フォーマットの変更

印字フォーマットとは、タイムカードの表裏判定の有無や時刻や曜日の印字形式を決めることです。デジタル表示器に24時間制または12時間制で表示するかの設定も行えます。

タイムカードの表裏判定　1：する　2：しない	分印字表現　1：60進法　2：100進法Ａ　3：100進法Ｂ　4：10進法
24H／12H　表示切換　1：24時間制表示　2：12時間制表示（印字は24時間制で固定です。）	曜日印字　0：日付　1：英語　2：西語　3：仏語　4：独語　5：伊語　6：漢字　7：デイ No.　8：曜日印字しない

例：タイムカードの表裏判定なし、時間は12時間表示、分は100進法Ｂ、曜日は漢字表示にします。

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

2 印字フォーマットボタンを押します

ボタンを押すと
画面が変わります。

3 タイムカードの表裏判定を変更します

4 時間表示を変更します

注）12時間表示にした場合、時計表示は変わりますが、タイムカードの印字は変わりません。

5 分印字表現を変更します

6 曜日印字を変更します

2 2 36

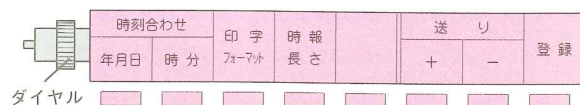
登録完了です。

☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

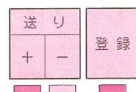
時報長さの変更 （EX6200N）

時報とは、ベル、ブザー等、外部時報装置を就業時間の区切りに鳴らすことです。
時報の設定は、週間プログラムによって行います。（17ページ参照）

例：10秒間

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

2 時報長さボタンを押します

ボタンを押すと、画面が変わります。
初期設定が表示されます。
（5秒間）

3 時報の長さを変更します

10になるまで⊞ボタンを押します。

＊ メロディの時間数は変更できません。

登録完了です。

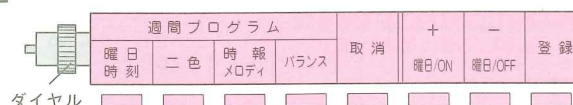
☞ 上ケースをかぶせると、時計表示に戻ります。

週間プログラムの設定 （EX6100N、EX6200N）

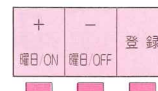
曜日と時刻の設定

週間プログラムは曜日、時刻の設定を行ってから、二色印字、時報、メロディ、バランス印字の設定を行います。

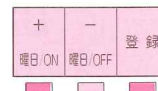
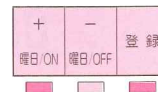
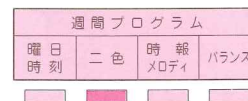
例：月～金曜日　8時30分

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

プログラム No.1を表します。

2 設定操作を開始します

3 曜日を設定します

☞曜日／ONボタンを押すと、点滅している曜日が設定され、曜日／OFFボタンを押すと設定されません。

4 時間を設定します

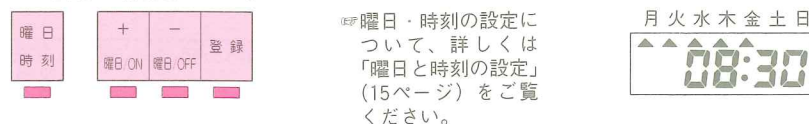
月 火 水 木 金 土 日

5 分を設定します

6 各項目設定に移ります

☞設定を間違えたときは、5の画面の状態にしてから、曜日／時刻ボタンを押して設定をやり直します。または取消ボタンを押して2からやり直します。

ここから先の操作は、「二色印字の設定」「時報の設定」「メロディの設定」「バランス印字の設定」をご覧ください。また、複数項目の設定も可能ですし、順番もどれからでも構いません。

二色印字の設定（EX6100N、EX6200N）

定時出勤、退勤と就業時間内での遅刻・早退とを区別するために印字色を切り換えることができます。
始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。

例：月～金曜日　8時30分から赤印字にします。

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

P-01
プログラム No.1を表します。

2 曜日と時刻を設定します

☞曜日・時刻の設定について、詳しくは「曜日と時刻の設定」（15ページ）をご覧ください。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

3 二色ボタンを押します

4 色を選択します

R：赤印字開始
B：黒印字開始
表示なし：設定しない
☞曜日／ON ボタン、曜日／OFF ボタンにより切り換わります。

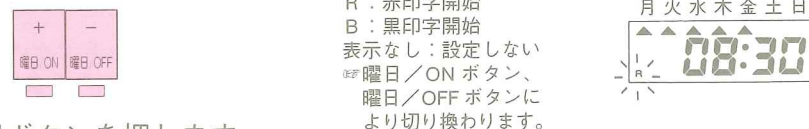
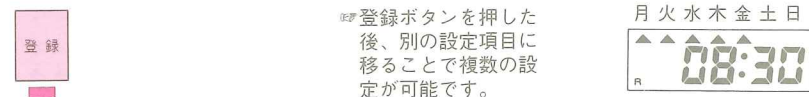
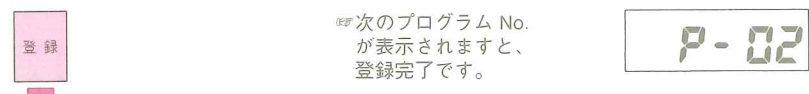
5 登録ボタンを押します

☞登録ボタンを押した後、別の設定項目に移ることで複数の設定が可能です。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

6 もう一度登録ボタンを押します

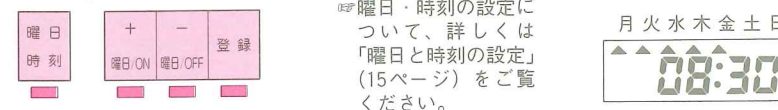
☞次のプログラム No. が表示されますと、登録完了です。

P-02

★引き続き設定を行う場合は、曜日／時刻ボタンを押して、手順2～6の操作を行います。

時報の設定（EX6200N）

休憩など就業時間の区切りを知らすために外部時報を鳴らします。
始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。
（時報の長さについては、14ページ参照）

例：月～金曜日　8時30分に時報を鳴らします。

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

P-01
プログラム No.1を表します。

2 曜日と時刻を設定します

☞曜日・時刻の設定について、詳しくは「曜日と時刻の設定」（15ページ）をご覧ください。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

3 時報／メロディボタンを押します

月 火 水 木 金 土 日 08:30

4 時報を鳴らすか鳴らさないかを選択します

◀が表示：時報鳴らす
表示なし：時報鳴らさない
☞曜日／ON ボタン、曜日／OFF ボタンにより切り換わります。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

5 登録ボタンを押します

時報を設定すると♪が点滅します。
☞メロディを設定する場合は、18ページ参照。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

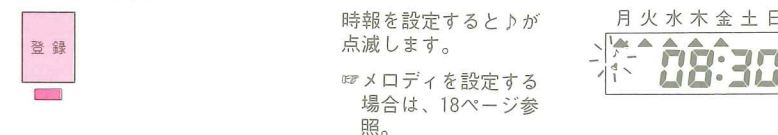
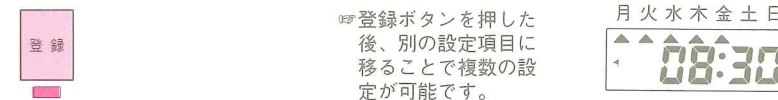
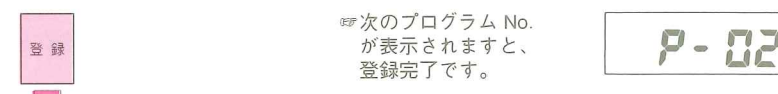
6 メロディの設定を解除します

☞登録ボタンを押した後、別の設定項目に移ることで複数の設定が可能です。

月 火 水 木 金 土 日 08:30

7 もう一度登録ボタンを押します

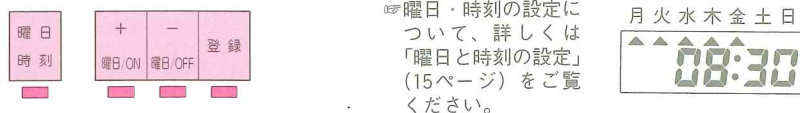
☞次のプログラム No. が表示されますと、登録完了です。

P-02

★引き続き設定を行う場合は、曜日／時刻ボタンを押して、手順2～7の操作を行います。

メロディの設定（EX6200N）

休憩など就業時間の区切りを知らせるためにメロディを鳴らします。
始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。

例：月～金曜日　8時30分に「峠の我が家」を鳴らします。

1　設定見出しのダイヤルを回転させます

プログラム No.1を表します。

2　曜日と時刻を設定します

☞曜日・時刻の設定について、詳しくは「曜日と時刻の設定」(15ページ）をご覧ください。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

3　時報／メロディボタンを押します

◀が表示：時報鳴らす

☞時報も設定したい場合は、17ページ参照

月 火 水 木 金 土 日
08:30

4　もう一度、時報メロディボタンを押します

月 火 水 木 金 土 日
08:30

5　メロディの曲目を選択します

♪　：鳴らさない
♪1：グリーンスリーブス(32秒)
♪2：峠の我が家(35秒)
♪3：ウエストミンスター(15秒)
♪4：二つのメヌエット(10秒)

月 火 水 木 金 土 日
08:30

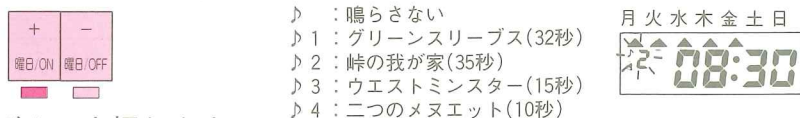
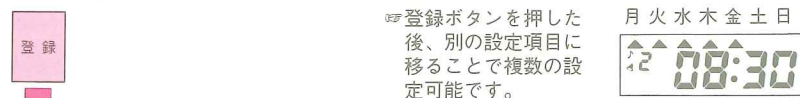
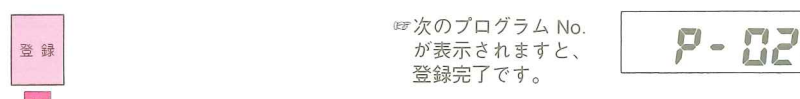
6　登録ボタンを押します

☞登録ボタンを押した後、別の設定項目に移ることで複数の設定可能です。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

7　もう一度登録ボタンを押します

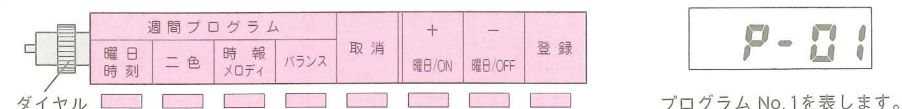
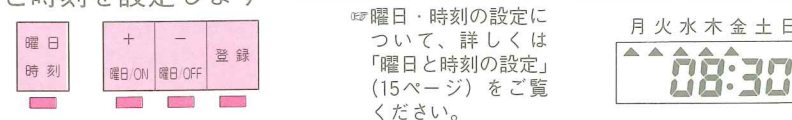
☞次のプログラム No.が表示されますと、登録完了です。

P-02

★引き続き設定を行う場合は、曜日／時刻ボタンを押して、手順2～7の操作を行います。

時報とメロディを同時に設定（EX6200N）

休憩など就業時間の区切りを知らせるために時報とメロディを同時に鳴らします。始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。

例：月～金曜日に、時報とメロディ「峠の我が家」を鳴らします。

1　設定見出しのダイヤルを回転させます

P-01

プログラム No.1を表します。

2　曜日と時刻を設定します

☞曜日・時刻の設定について、詳しくは「曜日と時刻の設定」(15ページ）をご覧ください。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

3　時報／メロディボタンを押します

◀が表示：時報鳴らす

4　登録ボタンを押します

時報を設定すると♪が点滅します。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

5　メロディの曲目を選択します

♪　：鳴らさない
♪1：グリーンスリーブス(32秒)
♪2：峠の我が家(35秒)
♪3：ウエストミンスター(15秒)
♪4：二つのメヌエット(10秒)

月 火 水 木 金 土 日
08:30

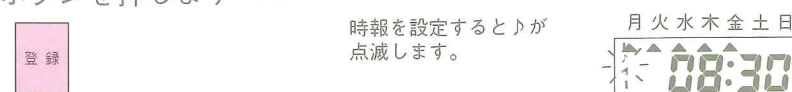
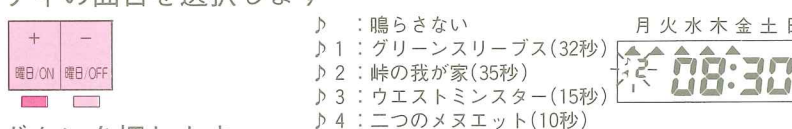
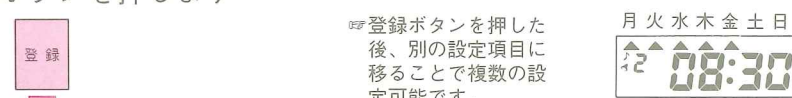
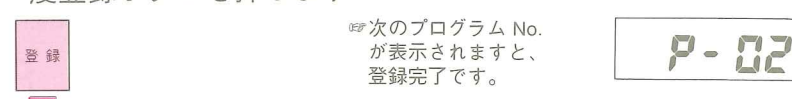
6　登録ボタンを押します

☞登録ボタンを押した後、別の設定項目に移ることで複数の設定可能です。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

7　もう一度登録ボタンを押します

☞次のプログラム No.が表示されますと、登録完了です。

P-02

★引き続き設定を行う場合は、曜日／時刻ボタンを押して、手順2～7の操作を行います。

バランス印字の設定（EX6100N、EX6200N）

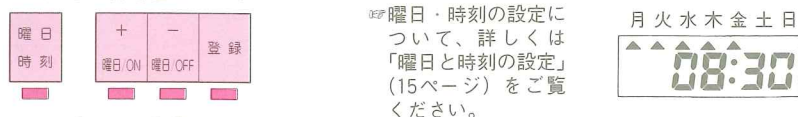
バランス印字とは、始業あるいは終業などの決められた時刻と実際に打刻した時刻との時間差を印字する機能です。

設定により、タイムカードの１欄目あるいは４欄目へ打刻するときのみ、この機能が働きます。また、バランス印字の分位は「100進法(A)」で印字しますので、普通時分と対応させるときは、換算表をご覧ください。

設定を行う前に、プログラム設定表に記入し、それに従って設定します。

始めに目的の曜日を設定し、切り換える時刻を登録してから行います。

例：月～金曜日、始業８時30分(１欄目へ印字すると５欄目にバランス印字します。)

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

P-01

プログラム No.１を表します。

2 曜日と時刻を設定します

☞曜日・時刻の設定について、詳しくは「曜日と時刻の設定」(15ページ)をご覧ください。

3 バランスボタンを押します

月 火 水 木 金 土 日
08:30

4 印字欄位置を選択します

１：１欄目印字時、５欄にバランス印字
２：４欄目印字時、６欄にバランス印字
表示なし：バランス印字しない
☞曜日／ON ボタン、曜日／OFF ボタンにより切り換わります。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

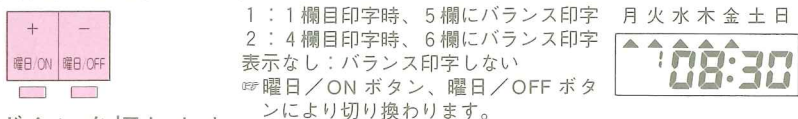
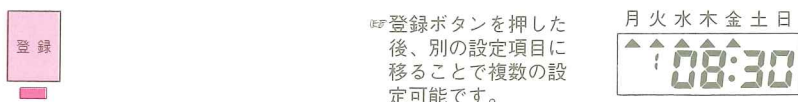
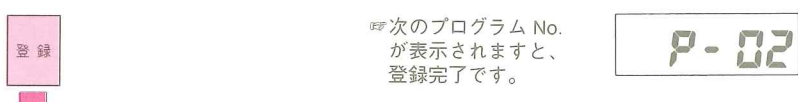
5 登録ボタンを押します

☞登録ボタンを押した後、別の設定項目に移ることで複数の設定可能です。

月 火 水 木 金 土 日
08:30

6 もう一度登録ボタンを押します

☞次のプログラム No.が表示されますと、登録完了です。

P-02

★引き続き設定を行う場合は、曜日／時刻ボタンを押して、手順２～６の操作を行います。

〔換算表〕

普通分 60進法	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
100進法 (A)	00	02	03	05	07	08	10	12	13	15	17	18	20	22	23	25	27	28	30	32

普通分 60進法	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
100進法 (A)	33	35	37	38	40	42	43	45	47	48	50	52	53	55	57	58	60	62	63	65

普通分 60進法	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
100進法 (A)	67	68	70	72	73	75	77	78	80	82	83	85	87	88	90	92	93	95	97	98

注意：バランス印字の設定は基準時間との時間差がわかりやすいように１欄目、４欄目とも１種類が適切です。
バランス印字させる時刻の設定が同一曜日の同一欄で複数設定されていると、実際に打刻した時刻に一番近い設定時刻との時間差をバランス印字します。

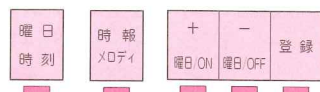
※ バランス印字の分位は100進法(A)によって表されます。

設定内容のコピー

設定した内容（曜日、時刻）を次のプログラム No.にコピーします。
コピーしたデータに変更を加えて設定することにより、設定時間を短縮することができます。
時刻や曜日が設定してある状態で、登録ボタンを２秒以上押し続けると、コピーできます。
次のプログラムが設定済の場合には未設定の最小プログラム No.のところにコピーします。

注意：週間プログラムを設定した後、引き続きコピーを行うことはできますが、設定済の内容をコピーすることはできません。

例：月～金曜日の９時に『グリーンスリーブス』、12時に『峠の我が家』にメロディを鳴らします。

1 週間プログラムを設定します（月～金曜日の９時にメロディ『グリーンスリーブス』を鳴らす）

2 登録ボタンを２秒間押し続けます

空いているプログラム No. を表示します。（例　No.７）

3 登録ボタンを離します

曜日と時刻がコピーされます。

4 時刻を変更します

月 火 水 木 金 土 日
12:00

5 メロディの曲目を設定します

☞18ページ参照。

月 火 水 木 金 土 日
2 12:00

6 もう一度登録ボタンを押します

☞次のプログラム No. が表示されますと、登録完了です。

設定の変更

週間プログラムの変更のしかたを説明します。

例：プログラム No. ５で、月～金曜日の９時に鳴らしていたメロディ『グリーンスリーブス』を『峠の我が家』に変更します。

1 変更したいプログラム No. を表示します

⊞ボタンを押すとプログラム No. が次に進み、⊟ボタンを押すと一つ前に戻ります。

プログラム No.５を表します。

2 登録ボタンを押します

月 火 水 木 金 土 日
1 09:00

3 変更したい項目のボタンを押します

☞メロディの設定をするときは時報／メロディボタンを２回押します。

月 火 水 木 金 土 日
1 09:00

4 設定内容を変更します

月 火 水 木 金 土 日
2 09:00

5 もう一度登録ボタンを押します

次のプログラム No. が表示されますと、登録完了です。

P-06

設定の削除

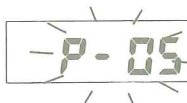
週間プログラムの削除のしかたを説明します。
削除するプログラムNo.の内容を確認してから削除を行いますが、プログラムNo.を表示した状態でも削除できます。

例：プログラム No. 5 を削除します

1 削除したいプログラム No. を表示します

内容を確認する場合は登録ボタンを押します。

2 取消ボタンを 2 秒間押し続けます

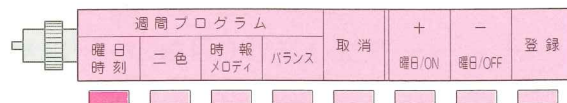
「ピー」と音がしますと削除完了です。

設定の追加

週間プログラムの追加のしかたを説明します。

例：空いているプログラム（プログラム No. 5 ）に設定を追加します。

1 登録ボタンを 2 秒間押し続けます

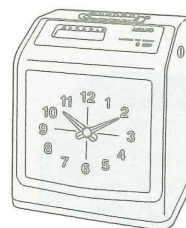
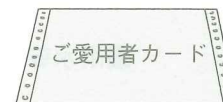
プログラム No. 表示画面で登録ボタンを 2 秒間押し続けると空いているプログラム No. を表示します。

2 設定を追加します

準備

EX6000N シリーズを使用できるまでの準備として、開梱から設置までについて説明します。

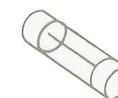
製品構成

EX6000N シリーズの構成品は次の通りです。
ご使用前にすべての構成品があることを確認してください。

□EX6000N シリーズ

□ご愛用者カード 1 枚

□取扱説明書（本書）1 冊

□カギ 1 組（ 2 個）

□テストカード　1 枚

□ヒューズ（250V 1A）1 本

本体内部の底面にテープ留めしてあります。

□コード押え　A
（EX6200N のみ）

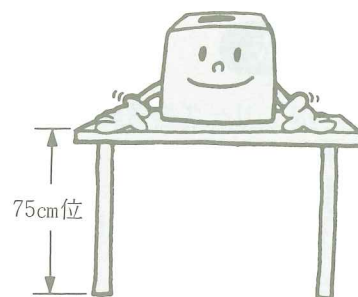
□コード押え　B
（EX6200N のみ）

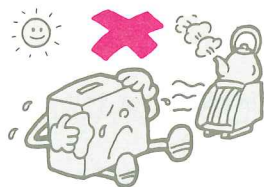
□プラスネジ　1 本
（背板に止めてあります）

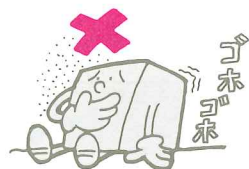
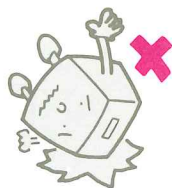
設置のしかた

製品を長くお使いいただくためにも設置場所や電源は良い状態を選びます。

設置場所

■台の高さは75cmくらいが適当です。
■タイムレコーダーは水平にして設置してください。
■アマノ専用レコーダースタンドがございます。ご利用ください。

設置を避ける場所

■直射日光や熱源に近い場所

■雨水等の直接当たる場所

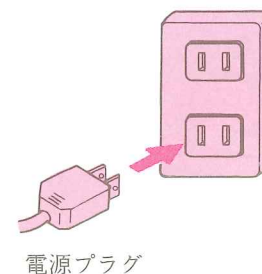
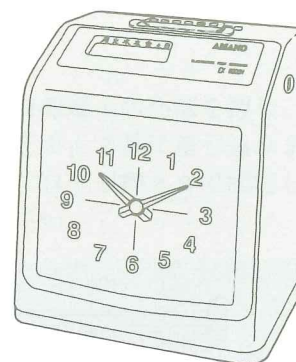
■ホコリ、振動の多い場所

■強い振動や衝撃

電源について

■電源は AC100V（50／60Hz）でご使用ください。

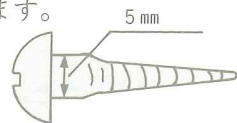
■電源、電圧は安定したところでご使用ください。

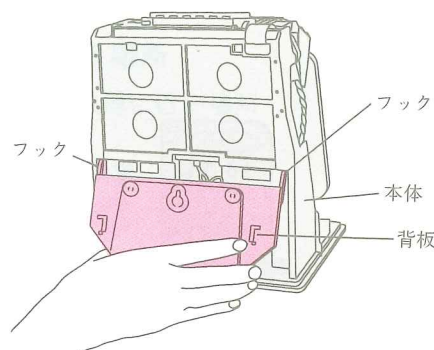
■電源は終夜電源にして、他の機種と独立させてください。

■リチウム電池を内蔵していますので停電になっても内部時計は歩進しています。（停電累計時間 3 年間）

電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込みます。

壁掛けのしかた

台を置けない場所へ取りつけるときは壁掛けにします。

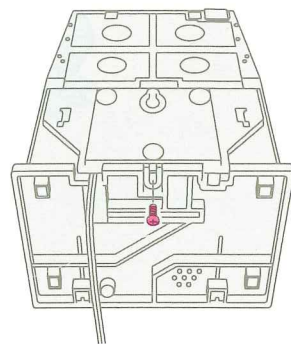
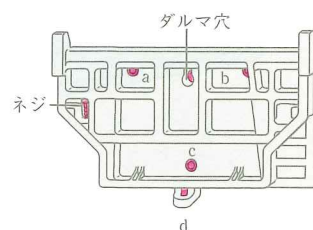
5㎜の木ネジを４本ご用意ください。

1 上ケースをはずし、背板もはずします。

・電源コードを抜きます。
・背板を持ち、下部を少し手前に引きながら、下におろすようにしてはずします。
・背板にセットされているネジをはずします。

2 はずした背板のダルマ穴と、穴ａ・ｂ・ｃを打ち抜きます。

3 ダルマ穴を壁の適当な高さに木ネジで固定し、次にａ・ｂ・ｃを木ネジで固定します。

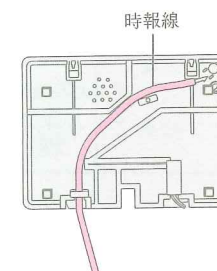
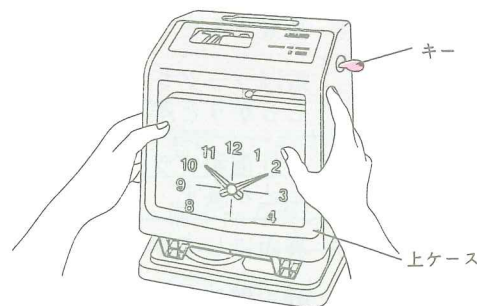
4 本体を背板に引っ掛けます。背板両側のフックを本体のみぞに合わせて、下から同時にはめ込みます。

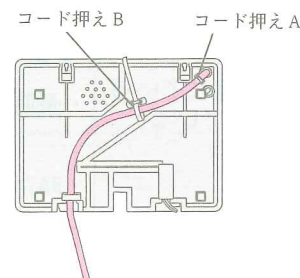
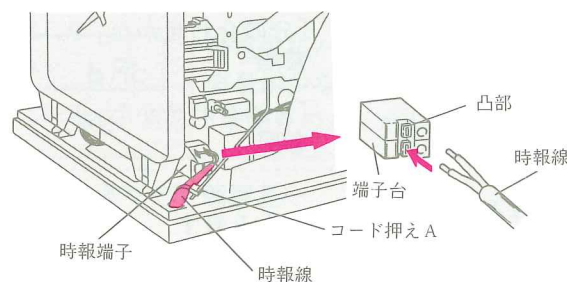
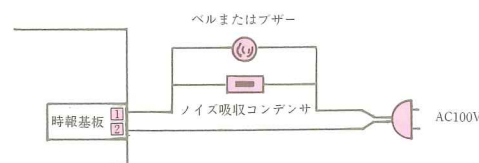
5 ｄを背板にセットされていたネジで下から固定します。

★　ａ・ｂ・ｃの穴径は6.2㎜です。

時報線のつなぎかた （EX6200N）

時報線の接続のしかたを説明します。電源コードは抜いておきます。

1 上ケースをはずします。

2 本体左底部より時報線を通します。

3 時報端子の凸部を押し、時報線を１、２番に差し込みます。次にコード押えＡで固定してください。

4 コード押えＢで時報線を底部に固定します。
コード押えは適当な長さで切ります。

■時報線配置図

ノイズによる誤動作を防止するために時報装置側にノイズ吸収コンデンサ（例：S-1205）を取り付けてください。

■接続仕様

時報回路：１回路
接点容量：AC250V 誘導負荷0.5A 以下
　　　　　DC 24A 誘導負荷0.5A 以下
接点出力：無電圧接点出力

こんなときには

こんなときには

現象	原因と処理		
カードが入らない	・停電中	⇨	復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇨	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした	⇨	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピーッ”と音がして印字しない	・カード面を逆に挿入した	⇨	裏面にして挿入する
	・カード挿入の失敗	⇨	軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・停電中	⇨	復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇨	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・時計部の動作不良	⇨	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
時計が遅れている（進んでいる）	・時刻合わせの間違い	⇨	「分の合わせかた」P.11参照
	・長時間の停電	⇨	「分の合わせかた」P.12参照
	・時計部の動作不良	⇨	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
日付が違う	・日付合わせの間違い	⇨	「日付の合わせかた」P.12参照
印字がうすい（印字が欠ける）	・リボンの寿命	⇨	リボンカセットの交換
	・リボンカセットの装着ミス	⇨	正しくセットしなおす
印字位置が違う	・締日などの設定間違い	⇨	「締日の変更」P. 8 参照
	・利用方法の誤り	⇨	カードの挿入、取出し方を指導
印字が流れる	・利用方法の誤り	⇨	カードの取出し方を指導

エラーコード一覧とメッセージ

エラー音がして、出退ボタンのランプが消えた場合は、本体内部で異常が発生しています。電源コードを一度抜き、しばらくしてから再度コンセントへ差し込んでください。回復しない場合はエラー表示を確認後、お買い上げの販売店へご連絡ください。

エラー番号	エラー内容	処　置
Err 1	時計ホームポジションセンサエラー	お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。
Err 2	欄ホームポジションセンサエラー	
Err 3	印字タイミングパルスセンサエラー	

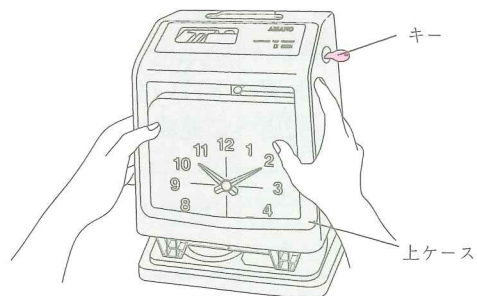
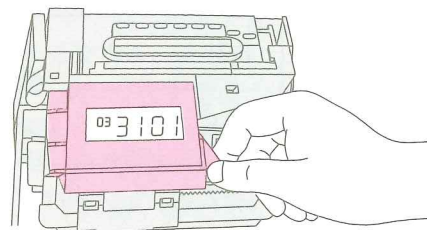
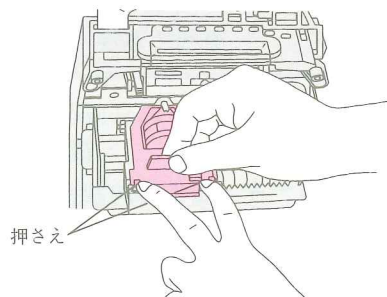
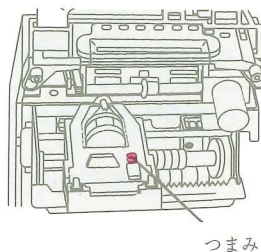
※Err 1は打刻できます。Err 2・Err 3は打刻できません。

メッセージ	原因と処理		
Lo bAt を表示	停電中にバッテリーの容量が少なくなった。（別売りのバッテリーキット使用）	⇨	復電後、充電する

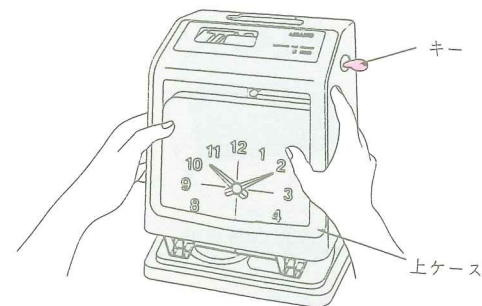
保守

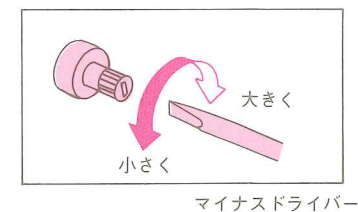
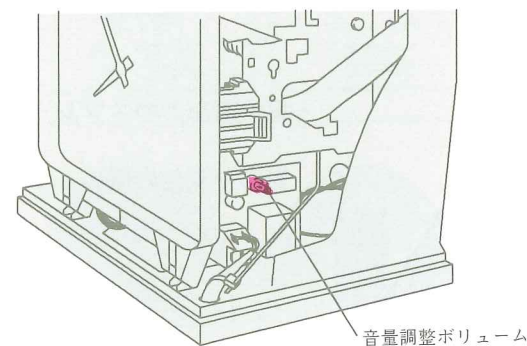
リボンカセットの交換

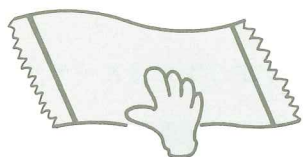
印字が薄くなりましたら、リボンカセットを交換します。

1 上ケースをはずします。

2 液晶式デジタル表示器の取っ手を持ち、上に持ち上げます。

3 リボンカセットの押さえを手前に引いたまま、リボンカセットを取り出し、新しいリボンカセットをセットします。

4 セット後リボンカセットのつまみを矢印の方向に2～3回まわして、リボンのたるみをとってください。

メロディの音量調整 （EX6200N）

ご使用になる環境に合わせて、メロディを聞きやすい音量にします。

1 上ケースをはずします。

2 音量調整ボリュームをマイナスドライバーを使用して、適当な音量になるよう調整します。手でも調整できます。

マイナスドライバー

日常のお手入れ

ケースが汚れたときのふき取り

・柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。

・ベンジン、シンナー（揮発性のもの）などの薬品を使用してふきますと、変形や変色の原因となります。

・殺虫剤などのスプレーをかけた場合でも、変形や変色の原因となります。

窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。表面は特殊加工されていますので、ご注意ください。

付録

消耗品・別売品

★お買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。

タイムカード（１箱100枚）

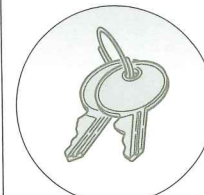
月末締め用カード　20日締め用カード　25日締め用カード

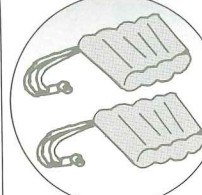
レコーダースタンド

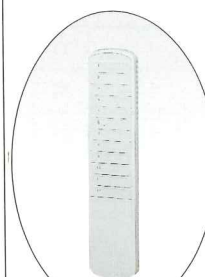
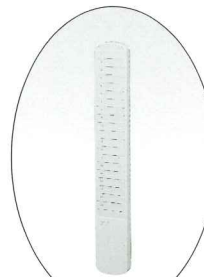
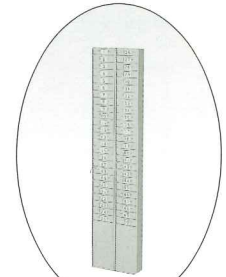
400W×685H×300D（m/m）
5.5kg

リボンカセット

単色：CE315150
二色：CE315250

鍵（ケース開閉用）

＃700キー
（C417450）

バッテリーキット

SR515050 一式

カードラック

12枚差し（ABS樹脂製）
108W×490L×34D（m/m）

20枚差し（ABS樹脂製）
108W×710.6L×34D（m/m）

50枚差し（スチール製）
206W×862L×42.5D（m/m）

☆形状や仕様は予告なしに変更する場合があります。

製品仕様

使用電源：AC100V±10％（50／60Hz）

消費電力：常時4W　最大20W

環境条件：温度－10℃～45℃
湿度10％～90％ RH（結露のないこと）

外形寸法：幅206㎜×高さ232㎜×奥行156㎜

重　　量：3.2kg

時計方式：水晶発振方式週差±３秒以内（25℃±５℃）

停電補償：リチウム電池にて停電累計で３年間（内部時計以外の機能はすべて停止します。）

設定表

No.	時　分	曜日							二色	時報	メロディ	バランス	
		月	火	水	木	金	土	日				1	2
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													

項目	
締日 01～31日	
空欄段送り 01～32段	
印字段切換時刻 00～23時	
印字フォーマット	
表裏判定 1：する　2：しない	
24H／12H 表示切換 1：24時間制 2：12時間制	
分印字表現 1：60進法　2：100進法A 3：100進法B　4：10進法	
曜日印字 0：日付　1：英語 2：西語　3：仏語 4：独語　5：伊語 6：漢字　7：デイNo. 8：曜日印字しない	
時報吹鳴時間 00～59秒	

メロディコード No.
1　グリーンスリーブス
2　峠の我が家
3　ウエストミンスター
4　二つのメヌエット